

事務事業チェックシート

事務事業No 435 事業名 観光エコステーション事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事業		観光振興事業	
事項		観光誘客対策事業		

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	2	中心市街地の活性化
施策	1	中心市街地の活性化
基本方針	2	賑わい・回遊性の向上

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	1	安定した雇用を創出する
政策	4	観光の振興
施策		

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H27	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	西川 隆博(435-1234)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする) ための事業か)	事業内容				
	移動手段に自転車を活用することで観光客の回遊性の向上を目指す。	わか地下広場にレンタサイクル拠点を設置し、レンタサイクルを観光客に提供しまちなかでの回遊性の向上を図る。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		城まちeco観光レンタサイクル事業 随意契約によりユタカ交通株式会社と委託契約	城まちeco観光レンタサイクル事業 随意契約によりユタカ交通株式会社と委託契約	平成26年度で当該事業は終了 平成27年度からは観光課で観光エコステーション事業として和歌山市観光協会と委託契約	観光エコステーション事業	観光エコステーション事業

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	20,849	20,849	13,931	11,444	6,608	4,078	6,328		6,328	
伸び率 (%)	-	-	-33.2%		-52.6%		-4.2%		0.0%	
人件費	常勤職員	4,090	2,507	2,507	3,325	3,325	6,278	3,325	3,325	
	非常勤職員	121								
	小計	4,211	2,507	2,507	3,325	3,325	6,278	3,325	3,325	
国庫支出金					5,220	4,078				
県支出金	20,849	20,849								
市債										
その他										
一般財源 (税等)			13,931	13,931	1,388		6,328		6,328	
所要人数	常勤職員	0.55	0.33	0.33	0.45	0.45	0.83	0.45	0.45	
	非常勤職員	0.06								
主な予算内訳	観光エコステーション事業委託料 6,328千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
活動指標	自転車の貸出拠点数					年度目標値	12	12	1	1
						実績値	12	12	1	
	単位	か所	全体目標値	12	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度	100.0%	100.0%	100.0%
							年度目標値			
成果指標	自転車のレンタル台数					年度目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
						実績値	9,732	8,827	4,260	
	単位	台	全体目標値	10,000	全体目標達成度	88.3%	年度別達成度	97.3%	88.3%	42.6%
							年度目標値			
								実績値		
								年度別達成度		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○ 見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>市内の観光スポットが点在していることもあり、観光客にとって便利な移動手段ではあるが、乗り捨て可能で利用料金が安価であったことから、ビジネス客の利用が増えるとともに自転車の輸送費や人件費などの経費がかかり、公共交通機関の利用が減少するなど、費用対効果が見られなかった。</p> <p>平成27年度からは、利用料金を見直し、レンタサイクル拠点を利用率の高いJR和歌山駅前に絞り、和歌山市での滞在時間を増やし、効率的な事業運営を行った。</p>
「見直し」「改善」案	<p>平成28年度も同様に行うが、今後、市駅の建替えによる事業運営を検討していく。</p>